

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MSC TECHNICAL NEWS

No. M720-18-8807

M34201M4-XXXFP 使用上の注意事項

1. M34201M4-XXXFPとM34201T-OPTBでは下記仕様が異なりますのでご注意ください。

| 項 目 | M34201M4-XXXFP | M34201T-OPTB |
|-------------------|---|--|
| キーオン ウェイクアップ*1 | パワーダウン状態からのF, Gポートによる復帰は、F又はGポートに立ち下がり波形を入力 | パワーダウン状態からのF, Gポートによる復帰は、F又はGポートに“L”レベルを入力 |
| スキップ命令 | POF1命令、POF2命令をスキップ命令でスキップした時POF1命令とPOF2命令はスキップされます。 | POF1命令、POF2命令をスキップ命令でスキップすることはできません。 |

*1. パワーダウン状態からの復帰信号にマスクオプションでF, Gポートを選択した場合。

2. M34201M4-XXXFPにおきまして、INT端子入力によるEXFフラグのセット条件がCPU動作時と、パワーダウン状態時では異なりますのでご注意ください。

レジスタW

| | | | |
|----|----|----|----|
| W3 | W2 | W1 | W0 |
|----|----|----|----|

INT割り込み極性切り替えビット

| W3 | CPU動作時 | パワーダウンモード時 |
|----|--------------------|---------------------|
| 0 | 立ち上がり波形でEXFフラグをセット | “H”レベル信号でEXFフラグをセット |
| 1 | 立ち下がり波形でEXFフラグをセット | “L”レベル信号でEXFフラグをセット |

上記条件はINT端子を通常の入出力ポート(D9)として使用されている場合においても成立しますのでご注意ください。

3. M34201M4-XXXXFPにおいてコールドスタート時、 $f(X_{IN})$ クロック（高速クロック）発振安定のための待ち時間はRESET端子に外付けするコンデンサの値で決定されます。この待ち時間を数十～数百m(sec)に設計されますと $f(X_{CIN})$ クロック（低速クロック）発振安定の待ち時間には不十分ですので、コールドスタート後すぐにシステムクロックを $f(X_{IN})$ クロックから $f(X_{CIN})$ クロックに切り替えて使用されるときには、ソフトウェアで $f(X_{CIN})$ クロックの発振が安定するまでの時間を待った後、システムクロックを切り替えるようにしてください。

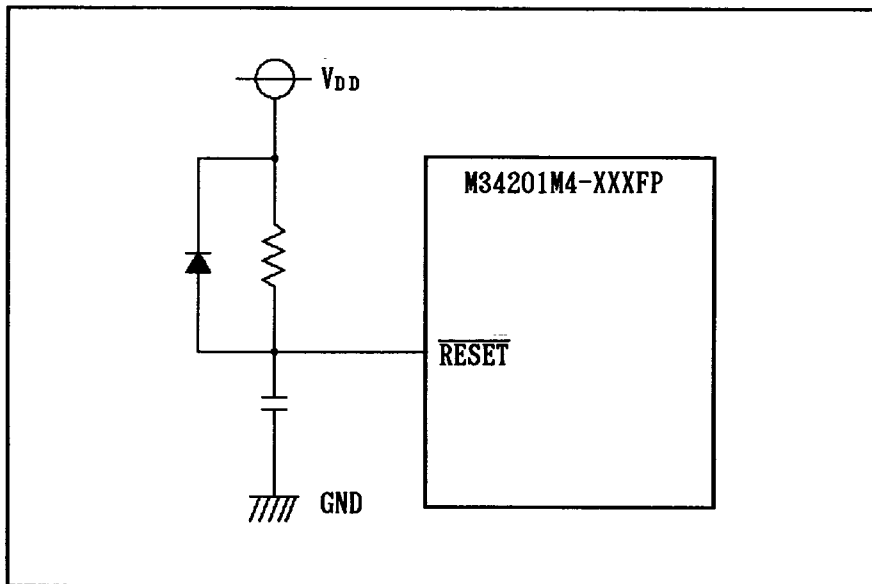


図1. パワーオンリセット回路例